

第2次はんのうふくしの森プラン実施計画
実績報告書及び計画確認書

支	これから取り組むこと（大目標）		協働の取組	関係する係	関係する係における取組	取組実績	関係する係における取組					
	これから取り組むこと（小目標）						平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
3 支え合いの仕組みをつくらう	1. 地区の実状に合った福祉活動を推進しよう											
	(1) 全地区に地域福祉推進組織をつくらう	①	CSWを中心に、地域福祉推進組織の必要性を啓発するとともに設立を支援します。	地域福祉推進係	・地域福祉推進組織未設置地区で地区別ふくし懇談会を開催し、組織の必要性について啓発します。	・精明地区地域福祉推進組織設立準備会の主催で1月17日に実施された自治会連合会精明支部を対象とした「ふくし懇談会」について、開催支援を行った。	継続					
		②	地域福祉活動の担い手を育成します。	地域福祉推進係	・地域福祉推進組織のサポーター（協力員）研修会等で、地域福祉活動の担い手として何が出来るかを伝えます。	・原市場地区社会福祉協議会、なぐり広場、たすけあいあがの、ふくしの森・東吾野、ささえあい南高麗において研修会の開催支援を行った。	検討・実施	継続				
	(2) 地域福祉推進組織の活動を充実しよう	①	CSWを中心に、地域福祉推進のパートナーとして、地域福祉推進組織の活動を支援します。	地域福祉推進係	・財政的、技術的支援及び情報提供等を行います。	・ふくしの地域づくり事業補助金要綱に基づいた財政的支援（6団体 3,000,000円）やCSWがふくしの森ステーションにて地域福祉推進組織へ技術的支援及び情報提供の支援を行った。 ・原市場地区社会福祉協議会において平成27年度からパートナーシップ協定を結ぶための調整をCSWが行った。	継続					
		②	地域福祉活動を担う人材を育成します。	地域福祉推進係	・地域福祉推進組織と協働し研修会若しくは講座を開催します。	・下記の事業実施にあたり支援を行った。 ①原市場地区社会福祉協議会主催 福祉委員研修 平成27年3月1日（日） 参加者 39人 「ふるさと原市場を支え合うには」 ②なぐり広場主催 講演会 平成27年3月14日（土） 参加者 33人 「マチから見える田舎の魅力」 ・市内地域福祉推進組織及び新座市地域福祉推進組織交流会を開催し、地域福祉推進組織構成員の交流や運営方法及び活動に関する情報交換を行った。	継続					
		③	地域福祉推進組織の活動・交流の拠点の確保について、市への働きかけを行います。	地域福祉推進係	・地域福祉推進組織設立地区に活動・交流拠点が確保できるよう、市と調整します。	・平成27年度より原市場、南高麗、東吾野の3地区にふくしの森ステーション設置に向けて、市と調整を行った。	・新たな地域福祉推進組織が設立された場合は、拠点の設置について市と協議します。	継続				
	(3) 様々な組織、団体と連携を図ろう	①	様々な組織、団体の連携を調整します。	地域福祉推進係	・地区で活動している社会福祉法人、NPO法人、社会福祉事業所、福祉団体、ボランティア団体などが情報交換等のできる場を検討します。	・連携の調整は出来なかったが、地域ケア会議、各地区民生委員児童委員協議会地区会長会及び地区定例会、地域ネットワーク会議、認知症ケアパス策定委員会等に出席し連携を深めた。	・ふくしの森ステーションにおいて各地区にある事業所等との連絡会を開催します。	継続				
	2. 自然に交流が生まれる場をつくらう											
	(1) 地域の居場所など、交流の場をつくらう	①	地域の居場所の活動支援や調整を行います。	地域福祉推進係	・必要に応じた補助金交付や、物品貸出の他、技術的支援及び情報提供等を行います。	・各グループについて、技術的支援、財政的支援、ボランティア調整等を行った。	継続					
		②	新たな地域の居場所づくりを希望する人の相談に対応し、設立支援を行います。	地域福祉推進係	・新たな地域の居場所づくりを希望する人の相談に対応し、設立支援を行います。	・新規サロンの立ち上げに関する相談、調整を行った。	継続					
		③	運営に係る費用を補助します。	地域福祉推進係	・必要に応じ補助金交付を行います。	・各グループについて、財政的支援を行った。 事業費交付 15団体 712,813円	継続					
		④	地域の居場所の必要性を広く市民などに知らせます。	地域福祉推進係	・「社協だよりくらしいきいき情報、ホームページ、ボランティア情報紙JOYJOY、拠点広報紙、広報はんのう」などへ周知記事を掲載します。	・「社協だよりくらしいきいき情報、ホームページ、ボランティア情報紙JOYJOY、拠点広報紙」などへ周知記事を掲載した。	継続					
		⑤	活動拠点の確保について、市に働きかけます。	地域福祉推進係	・地域福祉推進組織の設立済地区から拠点の確保について市と協議します。	・取組みなし	継続					
		⑥	店舗の活用について、店主へ働きかけます。	地域福祉推進係	・社協特別会員への協力について検討します。	・取組みなし	検討	実施				
(2) 人々が知り合い、交流するふくし懇談会を開こう（再掲）	①	【知】-3 再掲	地域福祉推進係									

第2次はんのうふくしの森プラン実施計画
実績報告書及び計画確認書

支	これから取り組むこと（大目標）		協働の取組	関係する係	関係する係における取組	取組実績	関係する係における取組			
	これから取り組むこと（小目標）						平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3. 身近な支え合いを広げよう										
	(1) 気軽に相談し合える地域をつくろう	①	活動主体としての取組なし。							
	(2) 見守り活動を広げよう	①	CSWが中心となり、地区の実状に合った見守り活動のあり方を検討する機会を各地区に設け、関係機関などと新たな見守り体制を構築します。	地域福祉推進係	・地区ごとにどのような見守り体制が必要なのか民生委員・児童委員、地域包括支援センター、地域福祉推進組織などを交えて検討します。	・民生委員・児童委員と連携して実施している「静かな見守り活動」について、各地区民児協定例会において情報交換を行った。	検討	新たな見守り体制の構築します。	体制構築地区から実施	
		②	業務に伴い、地域を巡回している企業などと協力して、効果的な見守り活動を実施します。	地域福祉推進係	・社協特別会員等へ見守り活動への協力について呼びかけます。	・取組みなし	検討	商店等へ協力を依頼します。	実施	
4. 市民活動支援の仕組みをつくろう										
	(1) ボランティア支援の機能を充実しよう	①	分野別ボランティア養成講座を開催し、人材の育成と確保に努めます。	地域福祉推進係	・市民のボランティアニーズを把握し、ボランティア講座を開催します。	・市民のボランティアニーズを基に「傾聴ボランティアスキルアップ講座」と「シニアボランティア・市民活動講座」を開催した。	検討	実施	継続	
		②	「ボランティア情報紙 JOYJOY」の内容の充実に努め、活動を周知します。	地域福祉推進係	・市民活動の場に出向き、ボランティア情報紙JOYJOYを配布するとともに、掲載情報の収集に努めます。	・市民活動の場に出向き、活動風景を「ボランティア情報紙 JOYJOY」に掲載するため情報収集を行った。	検討・実施		継続	
		③	ボランティア団体などとの懇談会を開催し、現状の把握、課題の解決に努めます。	地域福祉推進係	・ボランティア交流会を実施し、課題解決に向けボランティアセンターを運営します。	・年2回開催したボランティア交流会において得られた現状や課題を把握し、次年度以降解決ができるよう、ボランティアセンター運営委員会で意見の整理を行った。		継続		
		④	ボランティアセンターと市民活動センターにおける連携のあり方を検討します。	地域福祉推進係	・市民活動センター運営委員会に参加し、連携強化と役割分担を明確にし両センターの相乗効果を上げます。	・連携強化を目的として、「シニアボランティア・市民活動講座」を市民活動センター及び駿河台大学と協働して実施した。しかし通常業務についての役割分担の明確化には至らなかった。		継続		
	(2) 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の活動に参加しよう	①	埼玉県共同募金会飯能市支会の事務局として、街頭募金協力団体と連携し、募金活動に取り組みます。	地域福祉推進係 生活支援係	・街頭募金協力団体との打ち合わせを実施し、取組方法について検討します。	・街頭募金協力団体との打ち合わせを実施し、スムーズな活動実施に向けて日程及び場所の調整を行った。		継続		
		②	埼玉県共同募金会飯能市支会の事務局として、募金の活用方法を「社協だより ぐらしいきいき情報」やホームページなどを通じて積極的に市民に周知し、参加を呼びかけます。	地域福祉推進係 生活支援係	・募金の活用方法を「社協だより ぐらしいきいき情報、ホームページ」などを通じて積極的に市民に周知し、参加を呼びかけます。	・募金に積極的に協力していただけるよう、募金の活用方法と募金実績額を社協ホームページに掲載し、随時更新した。 ・職員自ら街頭に立ち、募金活動を行うことで、市民に対し募金の趣旨等を直接伝えた。		継続		
5. 自治会、民生委員児童委員協議会と連携しよう										
	(1) 自治会活動に協力しよう	①	自治会が福祉に関する活動を行うときに、必要に応じて、方法などについてともに考え、実施についても協力します。	地域福祉推進係	・自治会が福祉に関する活動を行うときに、必要に応じて、方法などについてともに考え、実施についても協力します。	・自治会連合会美杉台支部において地区住民を対象とした「暮らしの何でも相談コーナー」の実施に向けた検討と協働を行った。		継続		
	(2) 民生委員・児童委員活動に協力しよう	②	各地区民生委員児童委員協議会の定例会に、必要に応じてCSWが出席し、情報を共有するとともに、連携して地域福祉活動の推進に努めます。	地域福祉推進係	・各地区民児協定例会に、必要に応じてCSWが出席し、情報を共有するとともに、連携して地域福祉活動の推進に努めます。	・必要に応じ、各地区定例会に出席し、情報共有及び連携を図った。なかでも、名栗地区ではほぼ毎回参加し、連携を深めた。		継続		